



R I. 第2620地区 静岡第2分區
三島西ロータリークラブ

週報

第1716号

事務所 静岡県三島市大社町17-4
TEL(055)976-6351 FAX976-6352
例会場 静岡県三島市本町14-31 みしまプラザホテル
TEL(055)972-2122
会長 亥角 裕巳 幹事 井上 幸子



広重版画より 三島 朝霧

第1778回例会

2009.1.29晴

司会

花房孝光君

ロータリーソング

「日も風も星も」
指揮 前田房江君

会長挨拶

会長 亥角裕巳君

皆様こんにちは。4クラブ合同新年会、IMと行事が重なり久しぶりのホームクラブの例会です。

年が明けても毎日のように世界不況の報道がおこなわれ実際、輸出関連企業では60~70%の受注減により周辺の企業も大幅なリストラを余儀なくされています。不景気報道の繰り返しによって消費者の買い控えがはじまり、ますます物が売れない不況のスパイラルへ進んでいる実感がします。先日やっと第二次補正予算が成立したものの実施関連法案の成立時期が微妙とのこと、政治の駆け引きはいい加減にして早く強力な経済対策を実行してほしいと思います。20年前、バブルが終わったずっとあとから銀行の窓口規制・総量規制・土地価格の統制・べらぼうな土地重課税をおこない、政治が下り坂の景気の足をひっぱり失われた10数年を演出しました。いまこそ党利党略、官僚主導の政治から脱却したブレのない強力なリーダーシップのある政治家を求めたいと思います。

1月25日に東レ研修センターで行われた、IM(インターシティ・ミーティング)は会員増強一色でした。今年度の2620地区の牧田静二ガバナーのテーマは純増1名です。名古屋東南RCの伊藤秀雄氏の『誇りある増強』の講演に続き、『会員基盤増強』をテーマとして7クラブの増強委員長による各クラブの現状発表が行われました。年度当初この地区は80名の増加でしたが、不景気のなかで退会者も続出しているようです。いま100年に一度の大不況と言われていますがロータリークラブは103年前、商業道徳

の廃れたさなかに創立されたことを思えば、いまこそ創立の原点に戻りロータリークラブの必要性和その意味を考え直す時期であると思います。そしてロータリアンとしてふさわしい仲間を一人でも増やしていくことが、社会への貢献であると信じてクラブの維持拡大をしたいと思います。よろしくお祈いします。

“こんにちは、ようこそ”

ビジター 前田廣巳君(伊東RC)

-以上1名-

出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修出席率
前々回	18/44	40.91%	36/44	81.82%
今回	43/49	87.76%	会員総数	53名

欠席者 荒川君、瀬川君、原君、矢岸君、柳田君、
(石井(良)君)

幹事報告

幹事 井上幸子君

①1月は13日(火)の四クラブ合同新年会、25日(日)のIMと例会変更が重なりましたが、ご協力ありがとうございました。ご都合が悪く出席出来なかった会員につきましては、メイクアップをよろしくお願いします。

②次週第8回定例理事・役員会が開催されます。理事会で討議していただきたい案件がございましたら、幹事までご連絡ください。

③例会欠席の連絡は必ず守ってください。(幹事宛)

④本日の卓話 関本照文君 八田興一の偉業を偲ぶ

2008~2009年度
国際ロータリー会長
李 東建(D.K.Lee)

夢をかたちに



スマイルボックス

- ◆佐々木君、みなさまのポケットに入れてさせていただきました黄色のチランは、2月に全国の主な書店で発売されます。「断食しないで断食効果」のご案内です。私に直接お申し込みいただいた方には無料で贈呈させていただきます。
- ◆鈴木(貞)君、アメリカから輸入した犬の突然の死から6ヶ月経ち、ショックからだいたい立ち直って来ました。その犬の子も今月で4才になり、元気に大きくなりました。
- ◆田熊君、結婚記念日のプレゼントありがとうございます。
- ◆米山君、早退します。
- ◆鈴木(郁)君、本日、早退させていただきます。
- ◆諏訪部(敏)君、早退します。

ROTARY WORLD ロータリー世界各地から

ペルーの人々に笑顔を

ケイマン諸島のグランド・ケイマン・サンライズ・ロータリー・クラブから派遣されたチームが、ペルーで約350人に歯科医療を提供しました。グループのリーダーはクラブ会員で歯科医のパート・タッカーさんで、2005年以来、アマゾンとアンデス山脈周辺の村々を巡って3度目の訪問となります。6月、9日間で4つの村を回り、仮設の診療所で臼歯を治療したり、拔牙を行ったり、虫歯予防のケアを行ったりしました。クラブは、歯科医療関係者とロータリアンのボランティアから成るチームを2つ作り、村人が年に2回診察を受けられるように計画しています。

グアテマラに安全な調理用レンジを提供

5月、米国ワシントン州セドロー・ロータリー・クラブの会員がグアテマラのサンノゼ・マクスバルに4日間滞在し、村の64世帯に薪を使う調理用レンジを設置しました。調理用レンジのパイプを屋外につなげて室内の空気汚染を防ぎ、粘土製の火室で効率よく薪を燃やします。ロータリアンはまた、非政府組織「Hands for Peacemaking Foundation」と協同でプロジェクトを行うワシントン教会のメンバーが作ったキルトを住民に届けました。

卓 話

烏山頭ダム

関本照文君

八田興一技師は、真底から台湾を愛し、台湾の農業水利事業の歴史の中で、実に偉大な貢献をした。

八田は1886年金沢市に生まれ、1910年東大土木工学科を卒業して台湾総督府に技手として就職した。台湾は日清戦争により1895年日本の植民地となったが、後藤新平が総督府民政長官に就任してから民政重視、インフラ重視を政策として経営にあたっていた。

八田ははじめ台湾北西部の水資源開発に加わっていたが、1918年に南部の嘉南平野開発を担当することになった。彼は主任技術者として綿密な調査にもとづきダム・水路・水供給システムを計画し20年着工、10年後の30年に竣工させた。事業は堤頂長1.6キロ、提高56メートル、貯水量1.5億トンのアースダム、16キロの灌漑水路網、15万ヘクタールの農地よりなっていて、事業費は5400万円であった。

八田のすぐれていた点は、この大仕事を完成させた設計施工技術ばかりでなく、限りある水を有効に利用する新しい農耕方法を指導したことである。これにより収穫は米11倍、サトウキビ4倍にもなり、その後の台湾経済の発展の基礎となった。

八田が今日に至るまで敬愛されているにはもうひとつ理由がある。それは彼が台湾人にも日本人にもまったく平等に接したことである。当時の安全管理水準の低さにより工事では多数の死者が出たが、八田は殉職者の名を日本人、台湾人の区別なく等しく記念碑に刻み、その死を心から悼んでいる。

5月8日は、1942年に五島列島沖で米潜水艦に撃沈された船と運命をともにした八田興一の命日である。この時八田は水利開発の実地調査のためフィリピンに向かっていた。この日は今も台南市に近い烏山頭ダムで八田興一を偲ぶ墓前祭が行われている。



(週報担当:勝間田信輔)